

「青少年赤十字のひみつ」 発刊記念クイズ!



ぜんこく
全国の
がっこう
学校・図書館に
お
置いてあります

こた ほん なか
答えは、本の中にあるよ
こた かんが
答えを考えて
ほん こた あ
本で答え合わせをしてみましょう

こた ほんべん
答えは：本編の38ページ、92ページ

せいしやうねんせきじゆうじ れいわ ねん がつ いつか
青少年赤十字は令和4(2022)年5月5日に、
そうせつ しゅうねん むか
創設100周年を迎えました。
ねん ふしめ むか きねん
100年という節目を迎えられたことを記念して
がっけん まんがでよくわかるシリーズ せいしやうねんせきじゆうじ さくせい
学研まんがでよくわかるシリーズ『青少年赤十字のひみつ』を作成しました。
せいしやうねんせきじゆうじ せいしじゆうじ な た
『青少年赤十字のひみつ』では、赤十字の成り立ちや、
せいしやうねんせきじゆうじ たいせつ
青少年赤十字が大切にしていることを
わかりやすく解説しています。

がっけん
※学研まんがでよくわかるシリーズは、
みなさんが疑問に思うことや
知りたいと思うことを、
まんがでわかりやすく説明するシリーズです。



指導者の皆様へ

最近耳にすることが多い「人道」という言葉の意味、
周りの人を思いやることの大切さを学ぶことができる1冊となっています。
道徳の授業や平和学習等でご活用、ご紹介ください。
WEB サイトでも読むことができます。

学研キッズネット
まんがひみつ文庫



のセリフは何だろう! マンガのコマを見て考えてみよう!

赤十字の父

アンリー・デュナンのお話

いまから170年ほど前、スイス人のアンリー・デュナンは、小麦粉を作る会社の社長でした。アルジェリアで小麦を作るための畑(広大な土地)を手に入れました。そのころのアルジェリアはフランスに支配されていたため、小麦を育てる水も「水を使わせてほしい」とフランス皇帝のナポレオン3世にお願いをしなければなりません。

そのとき、ナポレオン3世はフランス・サルディーニャ連合軍とオーストリア軍が戦う戦場にいました。デュナンはナポレオン3世のいる戦場へむかいます。戦場には、怪我をした人が大勢いて、敵味方関係なく街の集会所や教会に担ぎ込まれています。救護する人も薬も足りず、負傷者はみんな苦しんでいました。

デュナンは、放っておくことはできませんでした。街の人の協力を得るため、家々をまわり、包帯や薬を分けてもらい、負傷者の救護にあたります。その救護所に敵の兵士がやってきました……。



青少年赤十字の意味を知る

ハルのお話

台風のため、ハルの家族は避難所へ。避難所にはクラスメイトのアイの家族も避難していました。避難生活を実際に体験したことでハルとアイは、地震や大雨で被災し、避難生活が長く続き、普段の生活にもどれない人たちがいることに気づきます。ウクライナの人たちも家をこわされ国内外に避難していることにも気づきます。みんなつらいだろうな……、避難生活をする人の身になって考えているところに、避難所の子どもたちを元気づけにやってきた高校生ボランティアのアンリと出会います。アンリは高校で青少年赤十字の活動をしていると聞きました。

ハルとアイは青少年赤十字の話に興味がいえわき、もっと知りたくて、アンリの家を訪問。アンリの家には中学生の弟のユズルがいました。ユズルは以前、駅で困っているおばあさんに声をかけ、切符の値段を教えた憧れの兄さんでした。ハルとアイはいくつもの気づきを得て、考え、青少年赤十字をもっと知りたくなっていました……。

